

学校経営計画

子どもの「好き」を^{みんな}組織でつくる
子どもの「得意」を^{みんな}組織でつくる
子どもの「笑顔」を^{みんな}組織でつくる

小金井市立前原小学校



自分が好き、学校が好き、ここが好き

自尊感情教育 自尊感情強育 自尊感情共育

子供たち一人一人の自尊感情を、強くしなやかに育てる教育を、保護者、地域と共に推進し、子供たち、保護者、地域から愛され、皆の誇りとなる学校を創造する。

1 目指す学校

- 子供一人一人がよさを発揮し自尊感情を高め、意欲的、創造的に活動する学校
- 生涯にわたって学び続けるために必要な意欲や学び方など、生涯学習の基礎・基本を確実に身に付けられる、授業が充実した学校
- 家庭・地域社会との相互理解・協力を図り、学校の役割をよりよく果たしてその信託に応える開かれた学校
- 教職員が教育活動の充実のために指導力を研ぎ、一致協力して組織的に教育活動を展開できる学校

2 中期的な目標と方策

(1) 児童

ア 学力の向上

- ・ 主体的学習に取り組む態度の育成
- ・ 基礎的な知識及び技能の定着
- ・ 思考力・判断力・表現力の育成
- ・ 基礎的な体力の育成・向上

イ 豊かな心の育成

- ・ 自分とともに他人を大切にする態度の育成
- ・ 社会の一員であるという自覚と規範意識の育成
- ・ 信頼関係を築きながら建設的にものごとを進める態度の育成

(2) 教職員

ア 能力開発と資質向上

- ・ 職に対する夢をもち、チャレンジする気力の向上
- ・ 職務実践課題を明確にして解決する力の向上
- ・ コミュニケーション力、人間関係調整力の向上
- ・ 授業実践力、生活指導力の向上

イ 組織力の向上

- ・ 共通の目標に向かって創造的に取り組む雰囲気醸成
- ・ トップダウンとボトムアップが効果的に発揮される仕組みの活性化
- ・ 組織対応力、問題解決力の向上

(3) 家庭・地域

ア 理解・連携・協力の強化

- ・ 情報収集・分析・編集・発信力の向上

- ・教育活動や学校情報の公開度アップと学校評価の改善・充実
- ・家庭・地域の教育活動参画意識の向上
- ・家庭・地域との連携事業の充実

3 令和7年度 of 取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

〈やさしさ〉(人権意識・社会性・協調性・公共性・道徳性)

○たてわり班活動

- ・月に1回のたてわり班活動を昼休みに実施

○奉仕体験活動

- ・ユニセフ募金の実施

○集団宿泊体験活動

- ・5年1泊：海の移動教室
- ・6年2泊：清里林間学校

○あいさつ運動

- ・学期に1回、代表委員を中心とした有志によるあいさつ推進運動

○ハートフルウイーク

- ・夏季休業日明けの1週間、担任と担任以外からの「生命尊重」に関する授業の実施

○子供の権利の尊重

- ・小金井市オンブズマンの出前授業
- ・小金井市オンブズマンの授業を受けて、人権に関する学んだことの発表を児童集会で実施
- ・夏季休業日明けの9月に、代表委員を中心とした、児童主催の児童会行事の実施

〈かしこさ〉(主体性・思考力・表現力・判断力・創意工夫・情操)

○朝学習

- ・算数の基礎基本の定着や活用力の向上及び対話の基礎を身に付ける学習の実施

○チームによる指導体制

- ・算数少人数(3～6年)※第3、5、6学年は4学級5展開、第4学年は3学級4展開
- ・特別教育支援員による支援や配慮を要する児童の学級内での学習支援

○主体的・対話的で、深い学びのある授業

- ・活発な対話を引き出すことをめざした問題解決型の授業展開

〈たくましさ〉(健康・安全・体力)

○体力向上タイムの実施

- ・持久走・なわとび旬間の実施

○食育活動

- ・給食試食会

(2) 重点目標と方策

〈学力の向上〉

○学年、発達段階の系統性を重視した日常活動及び授業における指導・支援の充実を通して、児童全員の学力向上を目指す。

- ・週3回の朝学習により、算数の知識・技能の定着、活用力の向上及び対話の基礎の定着を図る。

※ 学期毎にベーシックドリル診断テストの実施：年度末正答率（80）％以上の達成（令和5年度 72.9％）

〈授業力の向上〉

○児童の課題意識を大切にしたい問題解決型の授業を実施し、主体的・対話的で深い学びの視点にたった授業を創造できるようにする。

- ・学期に1回、問題解決型授業（問いと対話のある授業）の授業観察を実施する。
- ・年間一人10回以上の授業観察・授業交流を行い、授業を見て語り合う学校風土をつくる。

○研究奨励校2年目として、校内研究に「活発な対話を引き出す授業～未定～」を設定し、年間6回の研究授業・協議会を行いながら、思考力・判断力・表現力を高める手だての研究を深める。

○総合的な学習の時間に探究学習の単元を創設し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る指導方法を積み重ねる。

※【教員アンケート】

「4 児童が主体的に取り組む課題や教材を工夫している」の肯定的な回答（100）％の達成
（令和5年度 94％ 6年度 96％）

「5 自力解決や学び合いのある授業を展開している」の肯定的な回答（100）％の達成
（令和5年度 100％ 6年度 96％）

「10 発問や板書、資料提示、話し合い等の工夫を行い、一時間一時間を大切にしている」の肯定的な回答
（100）％の達成 （令和5年度 100％ 6年度 100％）

「19 授業中、落ち着いて学習できる雰囲気をつくり、児童に学習内容を身に付けさせている」の肯定的な回答（95）％以上の達成 （令和5年度 69％ 6年度 94％）

「研究2 家庭と連携して基礎学力の向上に取り組んでいる」の肯定的な回答（100）％の達成
（令和6年度 85％）

「研究5 児童に学習の振り返りをさせる活動に取り組んでいる」の肯定的な回答（100）％の達成
（令和6年度 96％）

「ICT1 授業中にICTを効果的に活用する工夫に取り組んでいる」の肯定的な回答（100）％の達成
（令和6年度 94％）

「ICT2 クロムブックを活用し、家庭学習の促進を図っている」の肯定的な回答（100）％の達成
（令和6年度 80％）

※【児童アンケート】

「3 先生や友達が話しているときは、集中して聞くことができましたか」の肯定的な回答（90）％以上の達成
（令和5年度 93％ 6年度 96％）

「研3 算数では、自分の考えを、ペアやグループの相手に分かりやすく伝えている」の肯定的な回答（85）％以上の達成
（令和6年度 85％）

「研4 算数では、自分の考えを、ペアやグループの相手に分かりやすく説明する努力をしている」の肯定的な回答（90）％以上の達成
（令和6年度 72％）

- 「研5 ふり返りの時には、次の学習につながるようなふり返りができていますか」の肯定的な回答(85)%以上の達成 (令和6年度 83%)
- 「研6 算数の授業では、友達との話し合いを、学習を理解することに活かしていますか」の肯定的な回答(85)%以上の達成 (令和6年度 93%)
- 「研究7 算数の授業では、問題を解決するために、自分から取組、自分の力で考えようとしていますか」の肯定的な回答(85)%以上 (令和6年度 93%)
- 「ICT1 パソコンを使った授業に楽しく取り組むことができていますか」の肯定的な回答(90)%以上の達成 (令和6年度 97%)
- 「ICT2 パソコンを使うことは、学習の役に立っていますか」の肯定的な回答(90)%以上の達成 (令和6年度 97%)

※【保護者アンケート】

- 「5 学校は分かりやすい授業を展開していると感じますか」の肯定的な回答(90)%以上の達成 (令和5年度 97% 6年度 95%)
- 「6 お子さんは意欲的に学んだり、自ら問題を解決したりしようとしていると感じていますか」の肯定的な回答(90)%以上の達成 (令和5年度 85% 6年度 83%)
- 「7 お子さんは家庭で学習や読書をする習慣が身に付いていると感じますか」の肯定的な回答(85)%以上の達成 (令和5年度 77% 6年度 79%)
- 「研8 この1年間で、お子さんの言語能力(語彙力や表現力)の向上は見られましたか」の肯定的な回答80%以上の達成 (令和6年度 92%)

○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境の構築及び授業を展開することを通して、一人一人の学習満足度及び問題解決力を高める。

- ・総合的な学習、生活科の学習において、地域と連携したり地域の環境を活かしたりして、生活の中から課題を見付け、主体的に問題解決や探究活動に取り組む児童を育成する授業を構築する
- ・第4学年以上の夏季休業中の家庭学習として、探究学習の自由研究を実施する。
- ・地域連携担当を中心として、地域連携活動年間計画及び地域人材一覧表を作成し、持続可能な地域連携体制を構築する。

※【教職員アンケート】

- 「12 カリキュラム・マネジメントを行い地域と連携できる活動に取り組んでいる」の肯定的な回答(95)%の達成 (令和5年度 87% 6年度 75%)
- 「14 地域等と継続的なかわりがもてるように、連携に取り組んでいる」の肯定的な回答(100)%以上の達成 (令和5年度 94% 6年度 79%)

※【児童アンケート】

- 「周1 前原地域のことが好きですか」の肯定的な回答(90)%以上の達成 (令和6年度 93%)
- 「周2 前原小学校地域の人と進んで関わりましたか」の肯定的な回答(90)%以上の達成 (令和6年度 87%)
- 「周3 前原小学校地域の方と話し合う中で、前原地域の魅力や課題について、自分なりの考えをもつことができましたか」の肯定的な回答(85)以上の達成 (令和6年度 85%)

※【保護者アンケート】

「8 お子さんは、自分の地域のことを好きだと感じていますか」の肯定的な回答（95）%以上の達成
（令和5年度 92% 96%）

〈学級経営力の向上〉

○児童に個々のよさを発揮させることで自尊感情を高め、成長できる学級集団を形成する。

- ・全学級で月1回の学級会を実施し、発達段階に応じて児童が主体的に学校生活づくりを推進できる話し合い活動の指導スキルを向上させる。

※【教職員アンケート】

「17 月に1回以上、学級会を実施している」の肯定的回答（100）%の達成
（令和5年度 57% 6年度 96%）

「生1 授業の準備をさせてから、中休みなどにしている」の肯定的な回答（100）%の達成
（令和6年度 96%）

※【児童アンケート】

「生1 次の授業の準備をしてから休み時間を過ごしていますか」の肯定的な回答（100）%以上の達成
（令和6年度 76%）

「生3 提出物をきちんと出したり、忘れ物に気を付けたりすることはできていますか」の肯定的な回答
（90）%以上の達成 （令和6年度 84%）

- ・WEBQU 及びいじめアンケートをもとに学年で協議する機会を設け、実態、成果、課題の確認及び手だての共有を行うことで、組織的に生活指導スキルを向上させる。

※【教職員アンケート】

「3 QU アンケートやいじめアンケートをもとに聞き取りを行い、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」の肯定的回答 100%以上の達成 （令和5年度 100% 6年度 100%）

「生8 丁寧で、優しい言葉遣いができるような指導に取り組んでいる」の肯定的な回答（100）%の達成
（令和6年度 100%）

「生10 道徳の授業で、生命尊重に関する授業を行っている」の肯定的な回答（100）%の達成
（令和6年度 100%）

※【児童アンケート】

「生5 交通ルールやマナーを守って登下校することができていますか」の肯定的な回答（90）%以上の達成
（令和6年度 96%）

「生8 ていねいでやさしい言葉づかいをすることができていますか」の肯定的な回答（90）%以上の達成
（令和6年度 90%）

「生9 相手の気持ちを考えて生活していますか」の肯定的な回答（95）%以上の達成
（令和6年度 94%）

「生10 自分や友達、自然の生き物を大切にしていますか」の肯定的な回答（90）%以上の達成
（令和6年度 97%）

※【保護者アンケート】

「4 学校はいじめの未然防止、早期発見・解決に取り組んでいると感じていますか」の肯定的な回答 (90) %
以上の達成 (令和5年度 82% 6年度 82%)

- ・「気持ちの良い挨拶と返事」、「時間を守る」「整理・整頓・清掃」などの基本的な生活習慣を徹底する。
- ・下駄箱における、くつのかかとそろえを通して、自律心の基盤を養う。

※【教職員アンケート】

「1 児童があいさつへの意識を高めるために、「あいさつ5項目」など、具体的な取組を行っている」の肯定的な回答 (100) %以上の達成 (令和5年度 81% 6年度 96%)

「生11 くつのかかとそろえの取組をしている」の肯定的な回答 (100) %の達成
(令和6年度 100%)

「生7 道具箱の中の整理整頓をする時間を設けている」の肯定的な回答 (100) %の達成
(令和6年度 91%)

※【児童アンケート】

「1 自分からあいさつをすることができましたか」の肯定的な回答 (95) %以上の達成
(令和5年度 ?% 6年度 90%)

「生7 道具箱の中を整理整頓したり、掃除に一生懸命取り組んだりすることができていますか」の肯定的な回答 (90) %以上の達成 (令和6年度 85%)

「生11 靴箱では、くつのかかとをそろえていますか」の肯定的な回答 (85) %以上の達成
(令和6年度 91%)

※【保護者アンケート】

「2 お子さんは家庭や地域の中で、挨拶をする習慣が身に付いていると感じますか」の肯定的な回答 (90) %
以上の達成 (令和5年度 84% 6年度 82%)

「3 お子さんは相手や場に応じた丁寧な言葉遣いをすることができていると感じていますか」の肯定的な回答 (85) %以上の達成 (令和5年度 78% 6年度 77%)

「生7 お子さんは、片付けや整理整頓する習慣が身に付いていると感じますか」の肯定的な回答 80%以上の達成 (令和6年度 84%)

- ・当番、係活動等に責任をもって最後までやり遂げる姿勢を徹底し、よさを認め自己有用感を高める。
- ・児童相互でよさを認め合う活動を日常的に行う機会を設け、児童の自己効力感、自己受容感を高める。
- ・学期に1回、特別支援教室の授業観察を行い、特別な支援を必要とする児童への理解を深める。

※【教職員アンケート】

「16 児童が活躍できる当番や係活動等の学級活動を設定し、児童によい面を伝えている」の肯定的な回答 (100) %以上の達成 (令和5年度 100% 6年度 100%)

※【保護者アンケート】

「12 教員はお子さんのよさを認めたり励ましたりし、適切に評価していると感じていますか」の肯定的な回答 (100) %以上の達成 (令和5年度 97% 6年度 97%)

〈組織力の向上〉

○児童の自尊感情を高めるための組織対応力、問題解決力の向上を図る。

- ・月1回の校内委員会を実施し、チームにより迅速・的確・継続的に「抱え込み」の排除を行う。
- ・週に1回の経営会議を実施し、主幹教諭をはじめとして課題発見能力、課題解決力の向上を図り、主幹教諭をリーダーとした校務分掌の活性化を図る。
- ・主任教諭をリーダーとして月1 or 2回の若手教員に対するOJTを実施し、学校運営参画意識及び職層、経験年数に応じた組織貢献力を身に付ける。
- ・生活指導の重点目標を設定し、指導の手だてを全教職員が共有し、一致団結して共通した指導を徹底する。

※【保護者アンケート】

「13 お子さんの学級は落ち着いて学習できる雰囲気だと感じますか」の肯定的な回答（90）%以上の達成
（令和5年度 89% 6年度 91%）

○まとまりがあり、生産的な活動への意欲が高い学校、学年、学級を形成する。

※ 保護者アンケート】

「学校は保護者に対して、教育活動や教育内容に関する情報を提供していると感じますか」の肯定的な回答
（85）%以上の達成 （令和6年度 92%）

「10 保護者会や学校公開に参加したいと感じていますか」の肯定的な回答（90）%以上の達成
（令和5年度 93% 6年度 97%）

